

白谷雲水峡

白谷雲水峡は、屋久島北部に位置し、巨石、空洞のある古木、滝、たくさんの珍しい植物や苔のある自然林です。標高 600～1200 メートルにある、424 ヘクタールの温帯針葉樹の森には、モミ (*Abies firma*)、杉(*Cryptomeria japonica*)、ツガ(*Tsuga sieboldii*)、550 種以上もの膨大な数の苔などが生育しています。白谷雲水峡のトレッキングコースでは、島で最も古い杉の木々のそばを通り抜けます。千年以上の(樹齢を持つ)これらの杉はこの場所(訳注：屋久島)でしか見られないので、屋久杉と呼ばれています。ハイキングトレールはまた、苔で覆われた巨石のある川辺、太鼓のような音がする巨岩=太鼓岩などを通り、島の最高峰の絶景も眺めることができます。

この渓谷には、主なコースが 3 つあります。1 時間の短い弥生杉コースは、弥生時代(紀元前 300 年～西暦 300 年)にさかのぼる杉にちなんでいます。3 時間のもっと長い奉行杉コースでは、数本の素晴らしい屋久杉のそばを通ります。そして、4 時間の太鼓岩往復コースでも、たくさんの屋久杉のそばを歩いて、最後は屋久島中部の絶景でしめくります。